

2015 年 4 月 27 日

佐藤馨一先生

東北大震災及び津波災害に起因しアラスカ州に漂着した瓦礫清掃について、近況をご報告したく
お便り申し上げます。

先生やご同僚、そして 400 名を越える個人の皆様のご厚意によりお寄せいただいた、津波瓦礫
清掃のための 21564.94 米ドルのご寄付により可能になった 2014 年の野外清掃期間における最初
の事業が終了しました。

ご寄付により、コディアック (Kodiak) 地域のアフォグナック島 (Afognack Island) の清掃活
動の費用が全面的に賄われました。7 日間の清掃期間中、2 名の担当者が 100 時間を越える作業を
行い、約 3、000 ポンド (1.3 トン) におよぶプラスチック、建材、ドラム、袋、金属、ブイ、こ
ん包紐、縄や網などを含む瓦礫を収集、袋詰めし、搬出いたしました。何が津波に関係する瓦礫か
を特定することは出来ませんが、去年は、過去同じ場所の回収量に比べ相当多くの発泡スチロー
ル素材のゴミが回収されました。プラスチック素材のゴミも量が増えており、今年はその 70%が
アジア由来のものです。

シトカ地域での第二次瓦礫清掃にも、ご寄付の一部が使われ、業者がコディアック地域と同様の
種類の 11500 ポンド (約 5 トン) のゴミを収集撤去いたしました。

コディアック、シトカ両地域の事業で回収された瓦礫は安全に撤去され、適切に廃棄するカリサ
イクルや再利用のため提供されました。ご支援頂いた事業と日本政府からの支援事業をあわせ、ア
ラスカ州の海岸、沿岸から既に相当のトン数に上る瓦礫を撤去することができました。

費用をご支援いただき瓦礫撤去作業を行った 2 箇所の現地写真を同封いたします。2 枚は海岸の
瓦礫の写真、他の 3 枚は瓦礫積み込み、搬出作業のものです。また、同封の地図は津波による漂着
瓦礫撤去作業が優先的に実施されているアラスカ沿岸を示すものです。瓦礫撤去のためご寄付が使
われた地域は地図上太字で示しました。昨夏、当環境庁で実施した全ての漂着瓦礫撤去事業の報告
書もお送りいたします。

重ねて申し上げますが、アラスカ州民は皆様からのご寄付に深く感謝し、細心の注意をもって管
理し、漂着瓦礫撤去事業に有効に使わせていただきました。さらに、このことにより、私達は太平
洋を隔てた日本に良き隣人がいることに気づいた次第です。

アラスカ州環境保全局長官 ラリー・ハーティグ